



かりやす



さらなる学力向上に向けて

1 現状

【学習の状況】

- 自分の強み・弱みを意識して、自分で目標を立てること
- 目標に向かって、一生懸命に取り組むこと
- △試行錯誤しながら、粘り強く自分で考え、課題解決していくこと

【学力の状況】

教科	成果	課題
国語科	根拠を明確にして、自分の考えを伝えること	主語・述語等の言葉の働きを意識して、一文を短く正確に書くこと 条件に応じて必要な事柄を選び、順序だてて説明すること
社会科	興味をもったことについて、意欲的に調べること	意味を理解して用語を用いたり、資料から情報を適切に読み取ったりすること 複数の資料を関連付けて考えること
算数科	自分の考えと他者の考えを比べ、共通点や相違点を見出すこと	問題場面のイメージをもち、問題解決に必要な要素を見出すこと
理科	考えるための手がかりを生かして、自分の考えをもつこと	用語や知識を使って、自分の考えを表現すること

2 方策

さらなる学力向上

資質・能力	手立て
課題解決への意欲	必要感のある学び合いになるよう工夫する。 ・教科の見方・考え方をふまえ、児童の思考の流れを想定し、児童に委ねる場を設定する。 ・児童が自ら動き出し、考えたくなるような教材を工夫する。 （児童の興味関心を生かす 提示方法を工夫する 等） ・個々の児童に気付きを促す発問を工夫する。
語彙力・読解力 ・計算力	帯学習で、各学年の課題に応じて、プリントやドリルに取り組む。 新聞等を活用した条件作文に取り組む。
適切に説明する力 （算数科）	問題場面を図で表し、関係性をとらえる。 イメージできた問題の状況について、言葉を精選し、数学的な表現を用いて簡潔に説明する指導を行う。
学習習慣	自分で目標を設定し、進んで家庭学習に取り組む。